

# 中村好文

素材選びは、まず手触りそして質感。手の感触に忠実であることで「普通の」住宅が生まれる

回作 品 ▶ 12頁  
回インタビュー ▶ 22頁

# 坂茂

坂茂建築設計

回作 品 ▶ 15頁  
回インタビュー ▶ 23頁

# 茂

フィニッシュとしての素材は考えない。空間を仕切るエレメントがそのまま表に出る

## 若手建築家4人の 考え方と作品

使い方の特徴ある4人の若手建築家を取り上げ、彼らの考え方、作品の中での素材の使われ方をクローズアップする。素材を切り口とすることで見えてくる、いまの時代の4つの住宅観。

## 住宅と素材 ユニークな

Super Close-up

住宅と素材、その接点にはさまざまな層がある。機能、デザイン、構造、コスト、法規、生産システム、文化……。素材の選択には、設計する人間の住宅への価値観が反映している。ここでは、住宅設計に意欲的に取り組み、素材の

ニュートラルな空間をつくるために、いったん生な素材感を消した材料で構成していく

# 石田敏明

石田敏明建築設計事務所

回作 品 ▶ 6頁  
回インタビュー ▶ 19頁

# 海野健

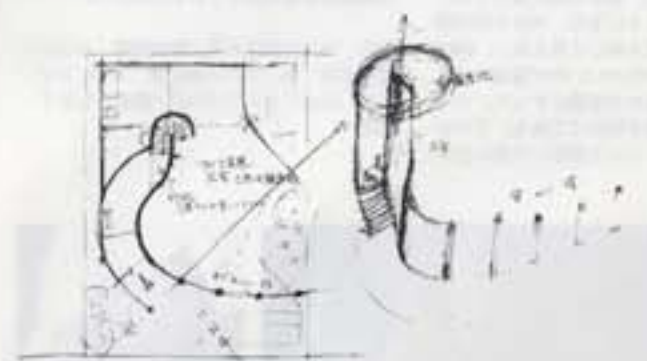
海建築家工房

回作 品 ▶ 9頁  
回インタビュー ▶ 20頁

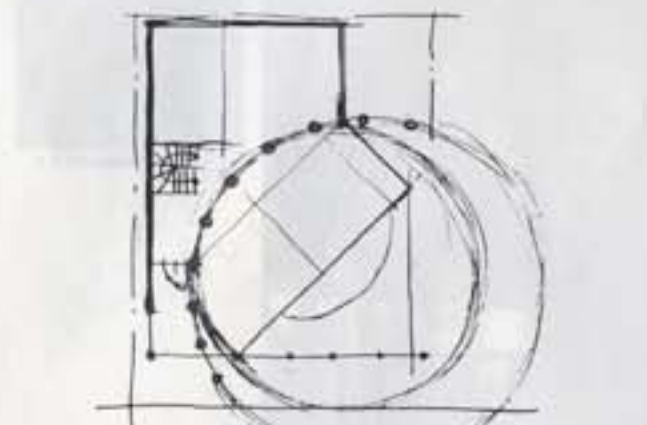
既成概念を離れた素材の活用で、もっと自由に住空間をつくっていく



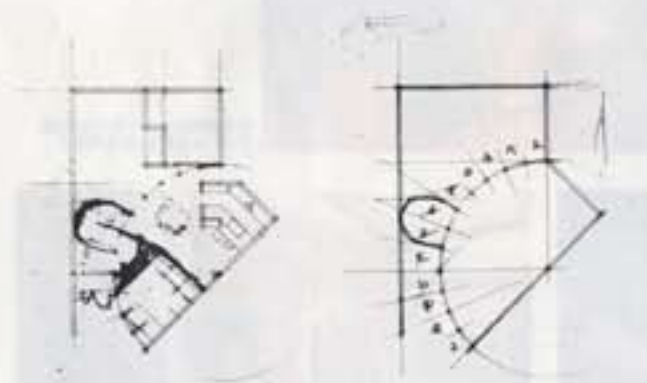
当初のイメージでは、庭は駐車場の仕切に丸太を列立させ、その列が内部に移行するに似た丸太が壁に変化し、表面では丸太が階段となり、吹き抜けを昇りて水盤扉部に達するというのだったが、階段の位置が定まらず、調整している55度の角度がウッドサークルに変化し、サークルの内側で階段の道が完成していった。サークルの柱も、丸太で数本だけのもので105角柱で32本という4の10になり、列柱を強調して壁を見えさせた。



当初のイメージ図。階段上の門が水盤扉



ウッドサークルの大きさを検討



サークルの柱の位置がプランに無理がないように調整



裏側道路側の登り開口デザインを検討

規格化とか工業化から  
できるだけ遠いところへ行きたい。  
その手助けとして素材がある訳です

## ウッドサークル in 浦安

この家は100年以上保たそうとして計画した。建物の目まぐるしい変化に初めから嫌気がさして、100年以上という長期で建物を保てるという、建築が本来持っている普通ゲームに取り組んだ。100年の間には家族も幾世代も変わり、いろいろな時代も経過していくだろう。その間、建築が生命力を持ち続けるためのハード・ソフト両面のロマンに満ちた充実が必要である。

開口部は南面とすることで調整可能な良好な日射が得られるので、敷地に対して45度の角度を持つことになった

所在：千葉県浦安市／敷地面積：170m<sup>2</sup>／建築面積：84.21m<sup>2</sup>／床面積：1 F 83.38m<sup>2</sup> 2 F 84.21m<sup>2</sup> 計167.59m<sup>2</sup>／構造：木造2階建



裏側道路の開口。玄関と水盤扉が別れた。



中央部分がアーチの壁。玄関は上の半木



裏側も道路側。窓の振り方を検討する

もっと自由に——思いが形になる住宅

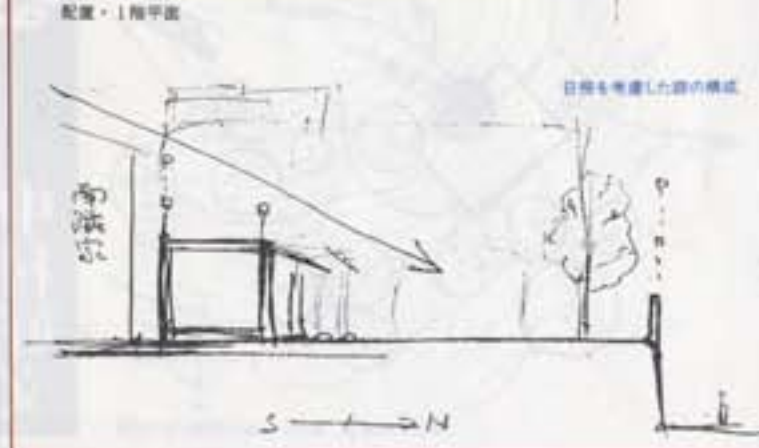
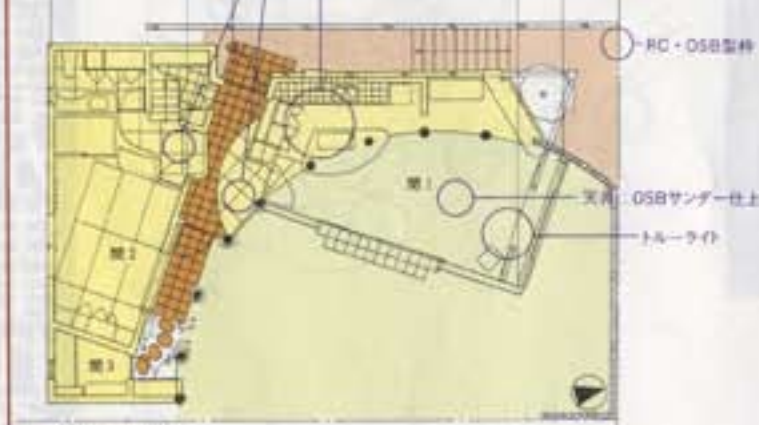
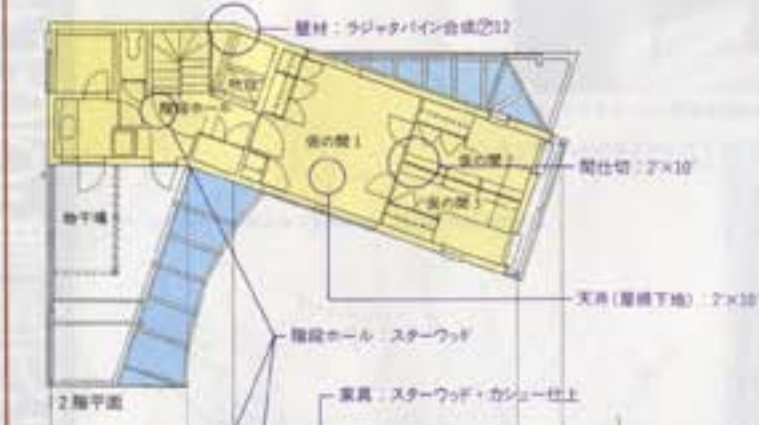
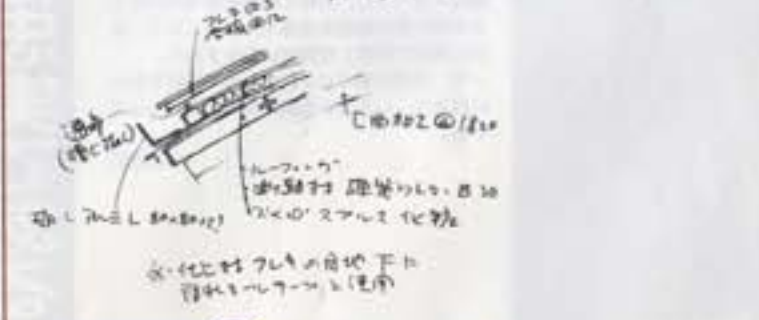
海野健三





張るだけで仕上がり  
という、最後までメ  
ーカーに世話をかけ  
てしまうものは、デ  
ザインもそっくり全  
部借りることになる

床、階段はMFDカシュー仕上  
壁はラジータイン合板で、  
天井はOSB合板が貼られている



アクリル材による天井（野  
地）と建築会社

## ウッドサークル in 返子

北側敷地をどうするか、一般的な建て方である北側に家を寄せて南側に庭を設けても南隣の影になるだけだし、樹木も隣の当たらない北面を見て暮らすことになる。やはり樹は隣の当たる方が緑も花も美しく見えるし、樹にとっても隣当たりの方がいいのが普通である。それをどう克服するかが主題となった。ウッドサークルはこの家が初めてである。アプローチからウッドサークルを横切って庭に出る

ことができる。様々な空間をウッドサークルを核にして配置し、敷地面積の割には豊かな空間構成を生み出すことを工夫した。

所在：神奈川県返子市 / 敷地面積：189m<sup>2</sup> / 建築面積：86.37m<sup>2</sup> / 床面積：11786.3m<sup>2</sup> / 2F33.61m<sup>2</sup> 計139.91m<sup>2</sup> / 構造：木造2階建



RC打設時の型枠材にOSBを使用している

全家具は全てMFDで製作、カシュー仕上と壁から壁への通路、壁の通り道

天井照明にルーラーを使用、テーブルは設計者の手作り

